

単元名：場面の状況や人物の心情を踏まえて朗読しよう

高等学校「古典探究」A読むこと


1 単元の目標




- (1) 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 [知識及び技能] (1)エ
- (2) 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、古典の作品の価値について考察することができる。 [思考力・判断力・表現力等] A(1)エ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 「学びに向かう力・人間性等」

2 単元の評価規準

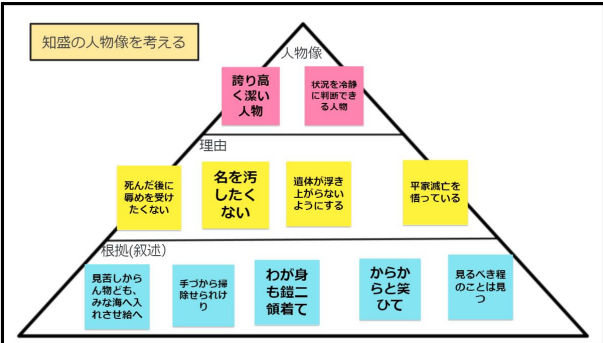


知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 (1)エ	①「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、古典の作品の価値について考察している。 (A(1)エ)	①場面の状況や人物の心情について叙述を基に的確に捉え、粘り強く朗読に取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。

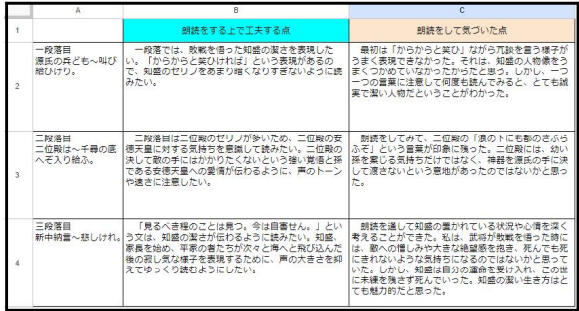
3 指導と評価の計画（全5時間想定）

時	主たる学習活動	評価する内容
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○軍記物語としての文体の特徴や表現の特色についてまとめる。	[知識・技能]① 「記述の確認」 <u>ノート</u>
2	○本文を読んであらすじをまとめ、全体の構成や展開を捉える。  ICT活用場面1 Google Jamboard ○Google Jamboardのピラミッドチャートを用いて「二位殿」と「知盛」の人物像をまとめる。	

時	主たる学習活動	評価する内容
3	 ICT活用場面2 Google スプレッドシート ○場面の状況や登場人物の心情を踏まえて、朗読する際の注意点をGoogle スプレッドシートに記入する。	
	○朗読の練習をする。	
	 ICT活用場面3 Google スライド ○本文を朗読し、ICT端末で録音する。 ○本文、録音した音声ファイル、画像などを用いてGoogle スライドを作成する。	
4	 ICT活用場面4 Google サイト ○Googleサイトでスライドを共有し、互いの朗読を聴いて相互評価する。	
	 ICT活用場面5 Google スプレッドシート ○ICT活用場面2で使用したGoogle スプレッドシートに朗読をして気付いたことをまとめる。	[思考・判断・表現]① 「記述の分析」 <u>ワークシート</u>
5	 ICT活用場面6 Google スプレッドシート ○単元を通して学んだことや課題、今後の展望などを、Google スプレッドシートの振り返りシートに記入する。	[主体的に学習に取り組む態度]① 「記述の分析」 <u>振り返りシート</u>

4 ICTの活用場面

ICT活用のポイント	使用したアプリ																				
<p>ICT活用場面1 (2時間/5時間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google Jamboardで可視化することで、登場人物の人物像について、複数の根拠(叙述)を関連付けて考えることができる。 	<p>Google Jamboard</p> 																				
<p>ICT活用場面2 (3時間/5時間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の状況や時代背景、登場人物の心情などを踏まえて、朗読をする上で工夫する点をGoogle スプレッドシートにまとめる。 朗読後に気づいた点をまとめる欄も設けると学習後の振り返りもでき、学習内容への理解が深まる。 	<p>Google スプレッドシート</p> <table border="1" data-bbox="767 745 1380 1077"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>朗読をする上で工夫する点</td> <td>朗読をして気づいた点</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一段落目 源氏の身どもへ呼び掛ひけり。</td> <td>一段落では、教養を備った知盛の言葉を表現した源氏の「からかると笑ひければ」という感情があるのので、知盛のセリフをあまり痛くならないように読みたい。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>二段落目 二位卿はへ千尋の態へそ入り給ふ。</td> <td>二段落目は二位卿のセリフが多いため、二位卿の徳天皇に対する気持ちを意識して読みたい。二位卿の決して敵の手にはかかりたくないという強い覚悟と孫である安徳天皇への愛情が伝わるように、声のトーンや速さに注意したい。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>三段落目 新中納言へ慰しけれ。</td> <td>「見るべき程のことは見つ。今は目撃せん。」という文は、運命を受け入れこれ世に未来を預さない知盛の覚悟が伝わるように読みたい。知盛、源義を始め、平家の善たちが次々と海へと飛び込んだ後の寂しい光景を想像するために、声の大きさを抑えてゆっくり読むようにしたい。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	1		朗読をする上で工夫する点	朗読をして気づいた点	2	一段落目 源氏の身どもへ呼び掛ひけり。	一段落では、教養を備った知盛の言葉を表現した源氏の「からかると笑ひければ」という感情があるのので、知盛のセリフをあまり痛くならないように読みたい。		3	二段落目 二位卿はへ千尋の態へそ入り給ふ。	二段落目は二位卿のセリフが多いため、二位卿の徳天皇に対する気持ちを意識して読みたい。二位卿の決して敵の手にはかかりたくないという強い覚悟と孫である安徳天皇への愛情が伝わるように、声のトーンや速さに注意したい。		4	三段落目 新中納言へ慰しけれ。	「見るべき程のことは見つ。今は目撃せん。」という文は、運命を受け入れこれ世に未来を預さない知盛の覚悟が伝わるように読みたい。知盛、源義を始め、平家の善たちが次々と海へと飛び込んだ後の寂しい光景を想像するために、声の大きさを抑えてゆっくり読むようにしたい。	
	A	B	C																		
1		朗読をする上で工夫する点	朗読をして気づいた点																		
2	一段落目 源氏の身どもへ呼び掛ひけり。	一段落では、教養を備った知盛の言葉を表現した源氏の「からかると笑ひければ」という感情があるのので、知盛のセリフをあまり痛くならないように読みたい。																			
3	二段落目 二位卿はへ千尋の態へそ入り給ふ。	二段落目は二位卿のセリフが多いため、二位卿の徳天皇に対する気持ちを意識して読みたい。二位卿の決して敵の手にはかかりたくないという強い覚悟と孫である安徳天皇への愛情が伝わるように、声のトーンや速さに注意したい。																			
4	三段落目 新中納言へ慰しけれ。	「見るべき程のことは見つ。今は目撃せん。」という文は、運命を受け入れこれ世に未来を預さない知盛の覚悟が伝わるように読みたい。知盛、源義を始め、平家の善たちが次々と海へと飛び込んだ後の寂しい光景を想像するために、声の大きさを抑えてゆっくり読むようにしたい。																			
<p>ICT活用場面3 (3時間/4時間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google スライドを利用して場面の画像と本文を示すことで、物語の世界をイメージしながら古文を読み進めることができる。 ICT端末を利用して朗読を録音することで、音声を何度も確認することができる。また、人前で朗読するのが苦手な生徒でも取り組みやすくなる。 	<p>Google スライド</p> 																				
<p>ICT活用場面4 (4時間/5時間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google サイトを用いることで、生徒が作成したスライドを容易に共有することができる。 コメント機能を用いて相互評価することで、自分の朗読を振り返ることができる。 	<p>Google スライド</p> 																				

I C T活用のポイント	使用したアプリ
<p>I C T活用場面5 (4時間/5時間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> I C T活用場面2で使用したGoogle スプレッドシートに朗読後に気づいた点をまとめる。朗読前と朗読後と比較することで、朗読を通して内容への理解がどのように深まったかを確認することができる。 	<p>Google スプレッドシート</p> 
<p>I C T活用場面6 (5時間/5時間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google スプレッドシートで作成した振り返りシートに、単元を通して学んだことや課題、今後の展望などを記入する。生徒分のシートを用意して共同編集すると、他の生徒の振り返りを参考にすることができる。多様な意見に触れることで、学習内容への理解が深まる。 	<p>Google スプレッドシート</p> 